

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

第2期天理市まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

奈良県天理市

### 3 地域再生計画の区域

奈良県天理市の全域

### 4 地域再生計画の目標

本市の人口は1995年の74,118人をピークに減少しており、住民基本台帳によると、2025年1月の人口は60,686人まで減少している。現状が続いた場合、人口減少は加速度的に進行し、本市人口ビジョンによる将来推計人口に基づく2045年には45,162人、2070年には28,179人まで減少すると予測されている。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は1995年の11,253人から減少し、2025年には6,985人となる一方、老年人口（65歳以上）は1995年の10,180人から2025年には17,151人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も1995年の52,685人をピークに減少傾向にあり、2025年には36,550人となっている。

自然動態をみると、出生数は1996年の830人をピークに減少し、2023年には371人となっている。その一方で、死亡数は2023年には780人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲409人（自然減）となっている。

社会動態をみると、1995年には転入者（5,635人）が転出者（4,495人）を上回る社会増（1,140人）であった。しかし、市内特定団体関係者の減少や市内学校の閉校などにより、市内への転入者が減少し、2022年には▲669人の社会減となった。それまで年々減少が続いていたが、外国人を含む転入者が増加したことな

どに伴い、2023 年は▲357 人と社会減が抑制された。

本市の人口構成の特徴として、20 歳前後の人口が他市と比べて多いにも関わらず、20～30 歳代の転出超過があり現役世代が減少していることがある。要因としては、天理高校・天理大学など教育機関への入学に伴う転入、及び卒業・就職・結婚・住宅購入などに伴う転出等がある。特に、転出については市内で雇用を十分満たせていないため、就職・転職をきっかけとした転出が発生しており、市内・近郊に働き口がある人だけが残っていると考えられる。基幹産業・地場産業の振興・高付加価値化によって、域内消費を拡大させ、十分な雇用の創出・所得の向上を図り、本市に住み続ける利点・価値を創り出すこと等を通じ、働き盛り世代の転出抑制を図っていく必要がある。

こうした課題に対応し、地域に好循環をもたらすため、次の戦略を掲げ、若い世代を中心に将来にわたって市民が安心して働き、希望に満ちた結婚、出産、子育てをすることができ、また、今後さらに増大していく高齢者層が安心して暮らせる持続可能な地域社会の構築を目指す。

- ・戦略 1 地域資源と新しい技術・多様な働き方を融合し、安心・充実して働ける場を創出する
- ・戦略 2 天理ならではの魅力を活かし、新しい人の流れをつくる
- ・戦略 3 こどもを産み育てたい人の希望が叶う、選ばれるまちになる
- ・戦略 4 垣根を越えた連携・協働で、暮らしやすく、住み続けたいまちをつくる

#### 【数値目標】

| 5－2の<br>①に掲げる事業 | K P I               | 現状値<br>(計画開始時点) | 目標値<br>(2029年度) | 達成に寄与する<br>地方版総合戦略<br>の基本目標 |
|-----------------|---------------------|-----------------|-----------------|-----------------------------|
| ア               | 法人登記事業所数            | 1,358社          | 1,400社          | 戦略 1                        |
|                 | ハローワークへの年間求人数（市内企業・ | 10,044 件        | 11,000 件        |                             |

|   |                                        |                                  |                                  |      |
|---|----------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|------|
|   | 事業所)                                   |                                  |                                  |      |
| イ | 拠点施設等来訪者数                              | 1,419,294<br>人                   | 1,450,000<br>人                   | 戦略 2 |
|   | 市外からの転入者数                              | 2,525 人                          | 2,550 人                          |      |
| ウ | 0～14歳人口（年少人口）                          | 7,332人                           | 6,500人                           | 戦略 3 |
|   | 安心して子どもを産み育てられると感じる市民の割合               | 35.9%                            | 40.0%                            |      |
| エ | 健康寿命（65歳以上平均自立時間）                      | 男性17.97年<br>女性20.22年<br>(2021年度) | 男性18.36年<br>女性20.70年<br>(2027年度) | 戦略 4 |
|   | 地域全体でお互いに支え合い助け合う機会や仕組みが充実していると思う市民の割合 | 38.2%                            | 45.0%                            |      |
|   | 住みやすいと感じている市民の割合                       | 65.0%                            | 68.0%                            |      |

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5－1 全体の概要

5－2 のとおり。

## 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する  
特例（内閣府）：【A2007】

### ① 事業の名称

第2期天理市まち・ひと・しごと創生推進計画

- ア 地域資源と新しい技術・多様な働き方を融合し、安心・充実して働ける  
場を創出する事業
- イ 天理ならではの魅力を活かし、新しい人の流れをつくる事業
- ウ こどもを産み育てたい人の希望が叶う、選ばれるまちになる事業
- エ 垣根を越えた連携・協働で、暮らしやすく、住み続けたいまちをつくる  
事業

### ② 事業の内容

- ア 地域資源と新しい技術・多様な働き方を融合し、安心・充実して働ける  
場を創出する事業

地域を支える産業を活性化するとともに、市内外からの新たな活力を呼び込み、地域内に好循環を生むことによって、市民が安心・充実して働ける場を創出する。

市内外の企業や人材・新しい技術や多様な働き方を組み合わせる施策を積極的に推進し、本市で働きたい人が働くことができる場と魅力的な雇用の創出を通じて、働き盛り世代の転出抑制を図る。

#### 【具体的な取組】

- ・ 科学技術を活用した有機農業の推進（オーガニックビレッジ）
- ・ 農村RMO（農村型地域運営組織）の推進
- ・ 創業・起業の支援（インキュベーション）
- ・ 若者・女性を中心とした就労支援 等

- イ 天理ならではの魅力を活かし、新しい人の流れをつくる事業

歴史・芸術文化・スポーツ・音楽等の天理ならではの魅力を活かしたプログラムや、近隣自治体との連携しながら、2025年度に開催の日本国際博覧会を契機に増加することが見込まれるインバウンドにも対応した周遊

型観光振興を通じて、さらなる交流人口の拡大を図る。また、国内外への情報発信強化や受入れ体制整備も行い、天理を知り、訪れ、体験してもらうことを通じ、関係人口の増加を図る。

それらの関係人口及び交流人口がもたらす経済効果により、地域に好循環を生み出すとともに、移住促進のための情報提供やお試し居住等の新しいライフスタイルの提案も行い、本市へのU・I・Jターンを推進し、定住人口の増加につなげる。

#### 【具体的な取組】

- ・拠点施設を活用した賑わいづくり
- ・天理の音楽によるまちづくり
- ・「NARA t i v e 撮影地ネットワーク協議会」による映画を活用した新たな魅力の創出
- ・国民スポーツ大会の開催に向けた取組みの推進 等

### ウ こどもを産み育てたい人の希望が叶う、選ばれるまちになる事業

安心して結婚・出産・子育てができるよう、充実した制度や環境を整えることにより、出産や子育てにかかる不安・負担を軽減し、若い世代が結婚・出産・子育てに希望を持てる地域社会の実現を目指す。

天理ならではの特色を活かした国際交流・音楽・スポーツ等の体験活動を充実させ、子育て世代にとって魅力のある教育環境を確立するとともに、地域コミュニティ全体で子育てに携わり、これからの社会を生きるための力を持つこどもを育む施策を推進する。

#### 【具体的な取組】

- ・妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない伴走型の子育て支援体制の深化
- ・ほっとステーションによる「こどもまんなか」の視点に立った学校園所づくり」の推進
- ・学校三部制を軸とし、学校教育と生涯学習を連携した活動の推進 等

### エ 垣根を越えた連携・協働で、暮らしやすく、住み続けたいまちをつくる事業

従来の垣根を越えて市民・団体・事業者・行政等の多様な主体同士が連携・協働・支え合いを図ることで地域の課題を解決し、地方創生に向けた取組みを効果的に推進する。

こどもから高齢者まで属性や世代、障害の有無にかかわらず地域で暮らすすべての人々が安心して生きがいを持てることは、地域活性化の基本となる。

すべての市民が健康づくりに関心を持ち、病気の予防に取り組めるよう健康管理を支援する。また、医療・介護、地域の連携による、生活上の困難を抱える方への包括的支援体制の構築を推進する。

#### 【具体的な取組】

- ・大和高原「福住村」プロジェクトの推進
- ・A I を活用したデマンド型乗り合い送迎サービス「チョイソコてんり」の運行 等

※ 詳細は、天理市第3期総合戦略のとおり。

#### ③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

#### ④ 寄附の金額の目安

7,500,000 千円（2025年度～2029年度）

#### ⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度9月頃に地方創生の外部有識者会議である天理市まち・ひと・しごと創生会議で効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本市公式WE Bサイトで公表する。

#### ⑥ 事業実施期間

2025年4月1日から2030年3月31日まで

## 6 計画期間

2025年4月1日から2030年3月31日まで